

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群
	対象学科・専攻	電気電子工学科
情報処理 (Information Processing)	担当教員	今村 成明 (Imamura, Nariaki)
	教員室	電気電子工学科棟2階 (Tel. 42-9022)
	E-Mail	n_imamu 最後に@kagoshima-ct.ac.jpを付けて下さい。
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) x 15回	
〔本科目の目標〕 本科目では、様々なソフトウェアの開発に利用されているプログラミング言語、C言語を修得する。文法の理解を目標とする。		
〔本科目の位置付け〕 2年次の情報処理、の続きである。2年次の項目の基礎部分を修得していることを前提とする。本科目は3年次後期の情報処理、5年次の情報処理の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 プログラミングは、どれだけ多くのプログラムを作成したかによって、上達のスピードが変化する。そのため、本科目は例題、演習を主体となる。学生諸君には積極的に課題に取り組む姿勢をもってもらいたい。疑問が生じた場合は直ちに質問し、理解を深めることを要望する。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1.C言語の基礎		
1.1 データ型と四則演算	1	データ型、定数と変数、演算子、型変換(キャスト)について理解し、各種プログラムを作ることができる。
1.2 標準入出力	1	標準入出力関数(sprintf, scanf)の書式、動作を理解し、簡単なプログラムを作ることができる。
1.3 条件分岐	2	条件分岐(if, switch)の書式、および条件式の真偽について理解し、簡単なプログラムを作ることができる。
1.4 繰り返し	4	繰り返し(for文, while文, do-while文)の書式、動作を理解し、各種プログラムを作ることができる。
1.5 配列	2	配列の宣言と使用方法を理解し、配列を使った各種プログラムを作ることができる。
2.関数		
2.1 ユーザー定義関数	4	ユーザー定義関数の書式、動作を理解し、関数を使った各種プログラムを作ることができる。 ローカル変数とグローバル変数、auto変数とstatic変数の意味の違いを理解し、各種プログラムを作ることができる。
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目1-1.1~2-2.1について達成度を確認する。
3. 配列とポインタ		
3.1 ポインタ	6	アドレス、ポインタ変数の概念を理解し、応用できる。 ポインタ引数について理解し、ポインタ引数を使った各種プログラムを作ることができる。
3.2 配列とポインタ	8	配列名とポインタの関係について理解できる。 配列とアドレス、ポインタの演算について理解できる。 配列名とポインタの違いについて理解できる。 配列引数の使用方法を理解し、配列引数を使った各種プログラムを作ることができる。
--- 前期期末試験 ---		授業項目1-1.1~3-3.2について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る。
〔教科書〕「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ		
〔参考書・補助教材〕		
〔成績評価の基準〕中間試験および期末試験成績 (75%) + レポート成績 (25%) - 授業態度 (最大10%)		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		